

広報

# かわごえ環境ネット

2023年11・12月号 No.194

川越市市制施行100周年記念事業として、昨年「2022 森フェス in 川越」を初めて開催しました。(仮称)川越市森林公園計画地という川越市の貴重な自然を生かす取組で、好評を博しました。この写真は、「森で歌おう & プチマルシェ」の様子で、バイオリンの音色を森の中で聴く新鮮な体験でした。今年も11月18日(土)に「2023 森フェス in 川越」を実施します。申し込みいただきぜひご参加ください(詳細5ページ)。(小瀬博之)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 2: 【報告】 かすみかせききた環境対話カフェ (第3回、9月10日)  
小畔川魚とり遊び (9月23日)・川越水上公園の生き物観察会 (9月30日)
- 3: 【報告】 秋のクリーン活動「川越まつり会場事前クリーン活動」(10月7日)  
【後援】 アースデイ川越 in 昭和の街 2023 (10月1日)
- 4: 【コラム】 社会と環境について思うこと (26) 虫の声が聞かれない  
自然を訪ねて (12) ときがわ町の巨木
- 5: 【募集】 「2023 森フェス in 川越」(11月18日) / 歳末まち美化活動 (12月24日)  
第22回かわごえ環境フォーラム「かわごえ環境活動報告集」投稿・発表者募集
- 6: かわごえ環境ネットからのお知らせ
- 7: 会員からのお知らせ
- 8: イベントカレンダー (2023年11月1日～12月31日)

残したい川越の風景 (12) 2022森フェス in 川越 (2022年11月18日撮影)



【報告】かすみがせききた環境対話カフェ（第3回、9月10日）

開催趣旨

9月10日（日）に霞ヶ関北自治会環境部とかわごえ環境ネット共催の第3回「かすみがせききた環境対話カフェ」を実施しました。地域環境対話活動とする本イベントは全4回で構成されており、今回は「考えてみよう！気候変動アクション」の回でした。第1回では気候変動について知る、第2回では自分たちの住んでいるまちを実際に見て意見を交換する、そして今回は具体的に何ができるかを考える回でした。参加者は11名、見学者は2名でした。

第3回実施結果

前回から2か月空いていたため、最初は1回目、2回目の振り返りをしました。参加して知り得たこと、当日の写真、みなさんの参加した時の感想などをスライドを使って共有していきました。

それをふまえて、個人でできること、自治会でできること、川越市でできることを今、5年、10年、100年と時間軸にのせて対話していきました。また、参加者同士で意見を出し合い、自治会の

環境スローガンも合わせて考えていきました。100年後を想像することはなかなか難しく、主に今からできること、近い将来できることの意味が多く出ました。自治会での集まりであったため、自治会でできることの可能性についての意見も活発に交わされました。

具体的にはこの地域の環境をよくする見守り隊を作る、循環型のごみ処理システムの構築という意見がまとめられました。また、まずは未来に向けて子どもも大人も輝ける地域にしていきたいという意見が多く出るグループもありました。

この日は、第1回で講演していただいた高橋真樹さんも駆けつけてくださり、「子ども、孫、その先の世代のことも考えていくことが大切」とのお話しをしてくださいました。

第4回の予定

10月開催予定のかすみがせききた環境対話カフェは、今回の企画の最終回、「伝えてみよう！気候変動アクション」です。今までの対話をもとに、霞ヶ関北自

治会環境部の方から今後につながる提案が発表される予定です。（小川夕子）



参加者の集合写真



環境活動について話し合い



グループごとの発表

【報告】小畔川魚とり遊び（9月23日）・川越水上公園の生き物観察会（9月30日）

小畔川魚とり遊び

実施日：9月23日（土）  
実施場所：かほく運動公園向かい側、小畔川親水ゾーン  
共催：自然環境部会、小畔川の自然を考える会  
参加者：29名、スタッフ：8名



ガサガサ開始



おさかな教室

9月になっても真夏日の続く天候でしたが、前日から珍しく雨になり川は増水。水は濁ってあまりよいコンディションではありませんでしたが、応募者全員が参加でした。

このイベントは参加受付初日の20分間で定員いっぱいになり、その後もキャンセル待ちが続くという人気でした。川越は川に恵まれています、川遊びのできる場所やチャンスが少ないのかも知れません。

開会時に安全のための注意事項を伝え、お子さんにはライフジャケットを付けてもらい川に入ります。岸のアシが生えているところに網を入れて「ガサガサ」を開始です。すぐに採れるのがヌカエビ、スジエビ、小魚、ヤゴなどです。1時間ほどで川から上がって、同時に投網で採捕していた魚種も含めて大きな水槽に入れ、おさかな教室です。リーダーの三村さんがブラックバス、オイカワ、カマツカ等の解説。採れた魚は子どもたちがうれしそうに持ち帰りました。（賀登環）

川越水上公園の生き物観察会

実施日：9月30日（土）  
参加者：8名、スタッフ：9名  
講師：佐々木英世氏（埼玉昆虫談話会）

環境政策課と自然環境部会の共催行事です。当日になつてのキャンセルがあり参加者は少なめでしたが、なかなか活発なお子さん方で、虫を追いかけて充実した観察会になりました。（賀登環）



チョウを捕まえた



草の上にバッタが

【報告】秋のクリーン活動「川越まつり会場事前クリーン活動」(10月7日)



参加者の集合写真

川越まつりを7日後に控えた10月7日(土)、まつり会場の事前クリーン活動を行いました。

9:30に本川越駅前交番付近に集合した参加者は総勢59名。参加者は、市民、かわごえ環境ネット会員、第一生命保険株式会社川越支社、パイオニア株式会社の方々など1歳~80歳代と幅広い年齢層でした。

クリーン活動は、増田知久副理事長(社会環境部会代表)のあいさつから始まり、渡辺利衛さんからのごみ収集の注意点やコース説明の後、5つのコース(菓子屋横丁コース、大正浪漫コース、クレアモールコース、旧埼玉りそな銀行川越支店コース、八幡神社コース)に分かれクリーン活動を開始。収集したごみは中央公民館で分別し11:30に解散しました。参加いただきましたみなさま、ありがとうございました。

今年の参加者は昨年の2倍。ベビーカーを押しながら参加する人や、親と参加する小・中学生、自ら申し込みをして参加してくれた高校生や大学生など、次世代の参加者も多くいて、この活動だからこそその出会いが毎回楽しいクリーン活動でした。

次回は、12月24日(日)に歳末まち美化活動を行います。9:30本川越交番付近集合です(本紙5ページに詳細掲載)。多くの方のご参加をお待ちしております。

(飯島希)



コースマップ



増田副理事長のあいさつ



一番街でのクリーン活動



川越商工会議所前で



クレアモールでのクリーン活動



中央公民館での分別の様子

【報告・後援】アースデイ川越 in 昭和の街 2023 (10月1日)



KOEDO 寺ピアノ

かわごえ里山  
イニシアチブ



中央公民館×  
芝浦工業大学

埼玉県水環境課



たねまキッズ等

川越女子高校音楽部

全体概要

10月1日(日)10:00-15:00に25回目(蓮馨寺界隈では16回目)の「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」を開催しました。

今回のテーマは、『SDGsを五感で体験!「ミライのびっくり箱」』。驚きの体験からSDGs(持続可能な開発目標)と未来を体感してもらおうというコンセプトで出展、出演していただきました。

16団体のブース出展、3団体のライブパフォーマンス、1店のフード&カフェコーナーがあり、小学生とその保護者を中心に300名以上の来場者があり、各ブースとライブパフォーマンス会場は盛況となりました。詳細は「アースデイ川越 in 昭和の街」ホームページをご覧ください。(小瀬博之)

かわごえ環境ネットのブース

森の手入れで発生した間伐材や今年

のドングリで木工ワークショップの店を出しました。ヒノキ材の丸太切りで「年輪パズル」、「ブンブンゴマ」、ドングリに顔を書いて「ドングリトトロ」どれも人気で用意した材料がなくなりました。

(賀登環)



ブンブンゴマになるよ



年輪パズルになるよ



大人も楽しい  
ブンブンゴマ



ドングリトトロ  
作成中



みんなの作った  
ドングリトトロ



アースデイ川越 in 昭和の街  
(<http://showanomachi.net/earthday>)

## 【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (26) 虫の声が聞かれない

秋になれば赤とんぼが空を舞い、こおろぎや虫の声がうるさく聞こえていた。しかし、近年トンボも虫の声もあまり聞こえなくなっている。

『サイレント・アース 昆虫たちの「沈黙の春」』(NHK 出版)の本の中から研究結果を記してみたい。

ドイツの昆虫学者たちが、27年間延べ1万7000日かけてドイツの自然保護区の63か所から昆虫を集めた結果、1989年から2016年までの27年間で捕獲した昆虫の全量は、76%も減少していたというものでした。昆虫は今までに100万種も命名されているのですが、個々の生態がわかっているのは、限られたわずかな種類だけだそうです。その中で、オオカバヤマダラについてのアメリカ・カリフォルニアでの研究では、1997年には120万匹いたのが、2018年には3万匹になり、97%減少したという研究があるそうです。

昆虫が減少した原因は、まずは、すみかの喪失がいえるでしょう。農地、道路、住宅地、工場などのために開発が

行われ、自然が失われています。

もう一つの原因は、殺虫剤、殺菌剤、除草剤などの開発で、DDTから始まった殺虫剤は、DDTが分解されにくいつまでも残留しているという理由で禁止になった。次いで、有機リン系殺虫剤(パラチオンなど)。これも有毒性が強く禁止となり、今はネオニコチノイド系が幅を利かせている。ネオニコチノイドはとても強力で、微量で昆虫の脳を攻撃する。一匹のミツバチを殺すのに必要なイミダクロプリドの量は、DDTの7000分の1で済むという。フランスや北アメリカでミツバチが大量に死んでいく現象が起き、2018年に三種のネオニコチノイド(イミダクロプリド、クロチアニジン、チアメトキサム)の使用がEU全域で禁止された。

ネオニコチノイドは分解されにくく、水にとけやすいので、土の中に残留していくし、川や湖なども汚染がひどくなっているところがある。そこでは甲殻類や水生昆虫の個体数が少なくなり、食虫性の鳥も減っているようだ。しかし

日本では、ネオニコチノイドも除草剤も、大手を振って売られている(禁止にできないものかと)。

先日の日本経済新聞9月13日夕刊(2面)に、『緑の芝生をやめて環境保護』というタイトルで米国の動きが報じられていた。米国では、庭や公共スペースを、芝生から在来植物に植え替える動きが広がっているとある。植え替えられた在来植物の庭には、花粉を媒介する昆虫や、鳥にえさを与えて、多様な生態系の維持につなげるとの考えが多くの支持を集めているようだ。

それに反し、我がご近所の新しく建てられた分譲住宅は、小さな庭がコンクリートで固められ、2台の車の駐車場となって、生き物の住みかとするところはない。

小さな庭でも木が植わっているそばを通ると、今年の酷暑でも少しひんやりした空気が味わえたのに。

私たちは緑の多い環境を造る努力をしていかねばならないと思う。  
(浜尾春子)

## 【自然環境部会コラム】自然を訪ねて(12) ときがわ町の巨木

### 山林の町

面積の7割を山林が占めるときがわ町には多くの巨木があります。この4月に埼玉森林インストラクター会の会長でかわごえ環境ネットでも活動している池田雄二さんに会の活動地であるときがわ町の巨木を案内してもらうことになり、かわごえ環境ネットのメンバー6名が参加しました。

ときがわ町のせせらぎホールに集合し、最初に「児持杉」のある萩日吉神社に行きました。萩日吉神社には多くのスギがありますが、児持杉は男杉(樹高40m、幹回り7.15m、推定樹齢800年)と女杉(樹高40m、幹回り9.35m、推定樹齢800年)からなり、間に祠があります。若い男女がお詣りすると子宝に恵まれると言い伝えられているようで、注連縄も2本まとめて掛けられていました。境内は散歩するのによい環境で、ちょうど園児が保育士さんたちと来ていました。



### 大カヤ

神社を出て町道から山道に入っていくとその先に県指定文化財である「大カヤ」(樹高16m、幹回り7m、推定樹齢1000年)がありました。周りの木々はずっと以前に切られたのでしょうか。枝は横に広く伸び、以前は東西南北とも25m以上あったようです。今は一部折れたためか、東方向がかなり短くなっていました。

### 越沢稲荷の大スギ

昼食はくぬぎむら体験交流館で郷土名物の「ひもかわうどん」をとり、歩いて5分ほどのところにある「越沢稲荷の大スギ」(樹高25m、幹回り6.2m、推定樹齢400年)に行きました。越沢稲荷のご神木であるため切られることなく垂れ下がった枝が印象的で、京都芦生の森にあるウラスギを連想しましたが、この杉はオモテスギのようでした。

最後に「姥榎」(幹回り



6.6m)に行きました。林道わき道の行き止まりの細い道の先にあり、行くには少し気を使います。姥のような老樹という意味のようですが、幹は捻れることでより頑強さを増しているとか。イチイガシの巨木は多いがアカガシでこれほど大きいものは全国的に見ても希少ということで見る価値は十分あります。木の前に立つとその迫力が迫ってきます。近くにカツラの巨木があるとのことですが、通行止めで行けません。ときがわ町には13本の巨樹がありますが、山中の不便なところが多く一度に廻るのは難しいです。

帰りに池田さんの案内で森林インストラクターの森に立ち寄りしました。針葉樹の林を切り開いてカツラ、ホオノキ、ヤマツツジなど多様な樹種が植林されていて、生物多様性豊かな森づくりをめざしているそうです。

(賀登勉)



【募集】「2023 森フェス in 川越」(11月18日開催) 参加受付中



昨年に続き、(仮称)川越市森林公園計画地にて、川越の貴重な森の自然を楽しむイベント「2023 森フェス in 川越」を開催します。

**開催概要**

日時：11月18日(土) 9:00-13:00  
(雨天時翌日順延)

場所：(仮称)川越市森林公園計画地

定員：先着 100人

参加費：大人 700円、子ども(小中学生) 300円、未就学児無料

※支払いは当日現金で受付  
集合：川越南文化会館(ジョイフル)横森のさんぽ道入口

主催：かわごえ環境ネット

**イベントアクティビティ**

- ・ネイチャーゲーム
- ・木工ワークショップ
- ・布絵本の読み聞かせ会
- ・森のコンサート  
(長又允希さんのバイオリン演奏) など

**参加申込・問い合わせ先**

電話またはメールで参加者全員の氏名／連絡先／参加人数をかわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)までご連絡ください。

Tel. 049-224-5866

E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp

【募集】歳末まち美化活動(12月24日実施) 参加者募集

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動。21年目の今年は12月24日(日)9:30-11:30に実施いたします。

**活動の概要**

集合時間 12月24日(日)9:30

集合場所 本川越駅前交番付近

活動時間 9:30-11:30

活動場所 本川越駅を出発し、蔵造りの街並みや周辺でクリーン活動を行い、中央公民館で集めたごみを分別し解散いたします。

**参加申込先**

12月1日(金)10:00 受付開始

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課) Tel.049-224-5866

**活動当日連絡先**

菊地 携帯 080-5546-2362

E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

**その他**

軍手とクリーン活動用の用具を用意しております。

本会会員の有無を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。



2022年の歳末まち美化活動の様子

【募集】第22回かわごえ環境フォーラム「かわごえ環境活動報告集」投稿・発表者募集

「かわごえ環境活動報告集」  
投稿・発表者募集

**スケジュール**

- ①「投稿・発表申込書」提出期限  
2023年12月11日(月)
- ②レポート投稿最終期限  
2024年1月15日(月)
- ③ウェスタ川越で発表  
2024年2月24日(土) 午前

**趣旨**

「第22回かわごえ環境フォーラム」の開催にあたって、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。個人・団体の年間の活動報告を「かわごえ環境活動報告集」に

集積して情報共有を図ります。積極的な応募をお待ちしています。

**応募要項**

- ①「投稿・発表申込書」の提出、②レポート投稿(4ページ以内)、③ウェスタ川越での発表(希望者)の3段階があります。それぞれの期限、期日は左記のスケジュールに書かれている通りです。

**詳細**

会員の方は本紙に同封またはメールで別送された応募要項をご覧ください。かわごえ環境フォーラムホームページにも掲載されています(原稿フォーマットもホームページにあります)。

会員外の方も投稿・発表歓迎です。

**協賛企業・団体の募集**

本報告集は、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。2024年1月15日(月)まで受け付けておりますので協賛いただければまことに幸いです。ご協賛いただいた企業・団体は、環境活動報告集に広告を、また、案内ちらしに協賛者の名前を掲載いたします。団体の会員には別途ご案内いたします。ホームページにも掲載しています。



かわごえ環境フォーラム  
(<https://forum.kawagoekankyo.net>)

## 報告

## 理事会・事業運営委員会

## 9月13日(水) 事業運営委員会・理事会

1 「第22回かわごえ環境フォーラム」の開催日・会場決定、2 出展打診のあった「つばさ館まつり」は「2023 森フェス in 川越」の実施予備日のため見送り、3 監事が欠けた場合の対応について確認、4 個人会員1名が退会

## 10月18日(水) 事業運営委員会・理事会

1 「第22回かわごえ環境フォーラム」午後の部の講演会、ワークショップの検討(11月理事会で企画決定)、報告集募集要項の郵送送付、協賛募集の文書作成を理事長に一任、2 「2023 森フェス in 川越」の実施場所決定、近隣学校等や広報での周知継続を確認、3 次年度以降のクリーン活動の実施について検討継続、4 後援行事「アースデイ川越 in 昭和の街 2023」の実施報告、5 個人会員1名入会により10月18日現在の会員は個人142、民間団体24、事業者26、行政1の計193会員  
(理事長 小瀬博之)

## 社会環境部会

10月13日(金) 13:30-14:30に福田ビル横のオーク2H<sub>2</sub>で例会を開催。参加者は6名。9月は豪雨のため中止。

**報告事項** 1 かすみがせきた環境対話カフェ第3回の報告、2 川越まつり会場事前クリーン活動の実施報告、3 2023 森フェス in 川越の準備状況、4 川越市環境基本計画見直し意見交換会の実施状況報告

**協議事項** 1 今後のクリーン活動の体制について意見交換、2 新規活動として会員の松岡壽賀子さんから映画の自主上映の企画があり実施を検討  
(社会環境部会代表 増田知久)

## 自然環境部会

9月例会は8日(金)7名参加 市役所7E会議室にて開催された。10月例会は13日(金)8名参加

**1. 活動報告** 1 「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動:9月11日(月)15名参加 林内一周・秋の七草さがし、9月25日(月)17名参加(生き物調査関連

でこの日は昆虫調査 講師:佐々木英世氏)、10月9日(月)雨天中止、2 池辺公園定例活動:9月12日(火)8名参加 植物調査入間川左岸(メッシュコード5339-6384)生き物調査 植物、昆虫など100種、10月10日(火)7名参加、3 イネ科研修会第2弾:9月1日(金)9:30-12:00 講師 牧野彰吾氏 ウェスタ川越会議室4、11名、4 生き物調査:9月15日(金)安比奈親水公園5名参加(メッシュコード5339-6373)植物、昆虫など120種、5 「小畔川魚とり遊び」:9月23日(土)「小畔川の自然を考える会」と共催(2ページ参照)、6 「生き物観察会」:9月30日(土)市・本会共催川越水上公園(3ページ参照)、7 アースデイ川越出展:10月1日(日)10:00-15:00 蓮馨寺(3ページ参照)

**2. 協議事項** 1 次期環境基本計画見直しについて意見交換、2 イベント、観察会などの担当者を調整、3 13年間にわたる川越のチョウの調査報告を作成することについて。

(自然環境部会代表 賀登環)

## 予告・募集

## 会合

◆**広報委員会** 1 11月1日(水)・2 12月6日(水) 9:00-9:30

●**社会環境部会**(第2金曜日) 3 11月10日・4 12月8日(金) 13:30-14:30

●**自然環境部会**(第2金曜日) 3 11月10日・4 12月8日(金) 14:30-16:00

◆**事業運営委員会** 5 11月22日・6 12月13日(水) 9:00-10:00

◆**理事会** 5 11月22日・6 12月13日(水) 10:00-11:30

★**川越市環境計画見直し意見交換会** 7 11月29日(水) 9:30-11:30、議題:「川越市緑の基本計画」に関する意見交換(審議後に文章化)、8 12月20日(水) 9:30-11:30、議題:②の意見内容確認(最終確認)

**会場:** 1 2 オンライン(URLは委員に別途案内)、3 オーク2H<sub>2</sub>(川越市郭町1-2-2、福田ビル隣)、4 川越市役所7階7E会議室(川越市元町1-3-1)、5 川越市役所地階修養室、6 8 川越市役所

3階3A会議室、7 川越市役所7階7C会議室、\* 3 4 は会員が、7 8 はどなたでも参加できます。

## 自然環境部会の活動

★**A 「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動**(毎月第2・第4月曜日) 11月13・27日, 12月11日(月) 9:30-12:30(12月25日は休止) 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★**B 池辺公園定例活動**(毎月第2火曜日) 11月14日, 12月12日(火) 9:30-12:00(1月9日は休止) 場所:池辺公園(川越市池辺1302)

**ABの問い合わせ先:** 賀登(Tel.049-234-9366)

★**C 伊佐沼キタミソウ観察会** 11月5日(日) 9:00-12:00 場所:伊佐沼(川越市伊佐沼) 募集20人 参加費200円、持ち物:ルーペ(あれば)、メモ帳など、共催:川越市埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

**Cの申込先:** 電話・Faxで環境政策課(Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800)

## 広報委員会

**2024年1・2月号(No.195, 1月1日発行) 投稿募集(会員対象)**

**提出期限:** 12月8日(金)

**提出方法:** 原稿(テキストデータ、図表)と写真等の画像(解像度の高い元データ)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出。

**本会「ホームページ」「note」への投稿** 会員であれば随時対応します。koho@kawagoekankyo.netへご連絡を。

## NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

### 近況報告

9月20日(水)・21日(木)に埼玉未来大学ライフデザイン科のフィールドワークで、研修生約30名がかわごえ里山イニシアチブで農業体験を行った。探求学習の高校生に交じっての稲刈り体験やマコモ葉刈り体験後、農業における課題や農業がもたらす環境問題について机上研修を高梨農園主を交えて行った。



体験学習と高梨農園での研修の様様

### 予告

12月3日(日) 10:00-15:00にウェスタ川越で行われる恒例の「くらしをいろいろFarmer's Market」に出店します。

**Facebook** <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

**HP** <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

## 福原ファームクラブ

横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

### 予告

◎**おいしく・楽しく農業体験** 場所：明見院(川越市今福677)近く、会費：一家族1,000円(年間)、**1** 11月11日(土) 9:30-12:30 ごろ 里芋の片付け 芋煮会、**2** 12月9日(土) 9:30-12:30 ごろ 大根畑の片付け

## 川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

9月13日(水)は「リョウブの森」の下草刈りをしました。この夏からササクサが広範囲に侵入し、強靱な「くつつき虫」なので困ったさんです。

### 予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地

「リョウブの森」の手入れ 11月8日(水) 8:30-12:00「リョウブの森」の手入れの続き。集合：川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、手入れがされていないエリアを動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを行っています。奇数月の第2水曜日が活動日です。



9/13 この夏は猛暑のせいか草の繁茂がひどかった

## 小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

9月23日(土)に「小畔川魚とり遊び」を開催しました。2ページ参照。

### 予告

◎**小畔川上流日高市あたりの川歩き** 12月3日(日) 9:30-12:00、土手から川環境を調査

## こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

### 報告

9月30日(土)の里山林保全活動では、前回までに講座を行ったロープ牽引システムを使ってヒノキ、スギ(枯損木)を伐倒しました。ナラ枯れのコナラを伐倒した場所では日差しが差し込んだことでアカメガシワ、タラノキ、クサギがかなり繁茂している場所があります。森の様相が大きく変わっています。



参加者集合写真 ロープワークの実践

### 予告

◎**こもれび祭「里山体験と木工教室」** 11月4日(土)・11月5日(日) 10:00-16:00、場所：東洋大学川越キャンパス、入場自由、お子さまから楽しめます。

**祭 HP** <https://www.komorebi-fes.com>

◎**里山林保全活動** **1** 11月18日・**2** 12月16日(土) 8:30-16:00、場所：東洋大学川越キャンパス(川越市鯨井2100)、定員：15名(高校生以上、事前予約必要)、作業：枯損木の伐倒、林床の下刈り、希少植物の保護など。詳細はこもれび隊ホームページにて。

**こもれび隊 HP** <https://www.toyo.ac.jp/social/satoyama/>

## 公益財団法人埼玉県生態系保護 協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯  
電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

### 予告

◎**伊佐沼でバードウォッチング**(毎月第2日曜日) 集合：10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、雨天中止、持ち物：筆記用具、図鑑、双眼鏡、飲み物、参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

**1** 11月12日(日) 10:10-12:00 カモの種類と合計数を調べてみましょう。

**2** 12月10日(日) 10:10-12:00 北の国からの使者、冬鳥が揃いました。鳴き声に注意して探しましょう。

## 個人会員からのお知らせ

福岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

### 予告

◎**かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」** 会場：高階南公民館(川越市藤原町23-7) コミュニティスペース、参加費：無料。持ち物：直近2~3か月分の電気料金票。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話ししています。個々の取組が減災・防災につながります。

**1** 11月15日(水) 13:30-15:00 「電気・ガスの使用量を減らすには」寒くなる前にこそ、健康面から考えて寒さ対策の準備、**2** 12月15日(金) 10:00-11:30 「プラスチック製品の使い方について」家庭でプラスチック製品を使用することについて健康・環境面から考えてみよう

### 6-8 ページの記号凡例

★：本会主催・後援等一般公開行事 ●：本会会員対象行事 ◆：本会理事・委員対象会合 ◎：本会会員等主催のイベント等 ○：その他(個別記事参照)

## 2023年11月

1 水 ◆ 9:00 広報委員会
2 木
3 金 文化の日
4 土 ◎ 10:00 東洋大学こもれび祭「里山体験と木工教室」
5 日 ★ 9:00 伊佐沼キタミソウ観察会 ◎ 10:00 東洋大学こもれび祭「里山体験と木工教室」
6 月
7 火
8 水 ◎ 8:30 「(仮称)川越市森林公園」計画地「リョウブの森」の手入れ
9 木
10 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
11 土 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
12 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
13 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
14 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動
15 水 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
16 木
17 金
18 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動 ★ 9:00 2023 森フェス in 川越
19 日
20 月
21 火
22 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
23 木 勤労感謝の日
24 金
25 土
26 日
27 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
28 火
29 水 ★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会
30 木

## 2023年12月

1 金 ○ 10:00「歳末まち美化活動」参加受付開始
2 土
3 日 ◎ 9:30 小畔川上流日高市あたりの川歩き ◎ 10:00 暮らしをいろどる Farmer's Market
4 月
5 火
6 水 ◆ 9:00 広報委員会
7 木
8 金 ● 13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会 ○ 本紙 2024年1・2月号 (No.195) 原稿投稿期限
9 土 ◎ 9:30 おいしく・楽しく農業体験
10 日 ◎ 10:10 伊佐沼でバードウォッチング
11 月 ★ 9:30 (仮称)川越市森林公園計画地植物調査・保全活動 ○ かわごえ環境活動報告集「投稿・発表申込書」提出期限
12 火 ★ 9:30 池辺公園保全活動
13 水 ◆ 9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
14 木
15 金 ◎ 10:00 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
16 土 ◎ 8:30 東洋大学「こもれびの森」里山林保全活動
17 日
18 月
19 火
20 水 ★ 9:30 川越市環境計画見直し意見交換会
21 木
22 金
23 土
24 日 ★ 9:30 歳末まち美化活動
25 月
26 火
27 水
28 木
29 金
30 土
31 日

### インターネットアクセス (QR コード)



ホームページ



X (Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube



note

### かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円です。

#### 会員特典

- 本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・電子メールでお届け、
- 本紙及び本会インターネットへの記事の掲載、チラシの同封、
- 本会主催の事業への優先参加、
- 総会、専門委員会活動への参加

#### 詳細

かわごえ環境ネット事務局 (川越市環境政策課) に問い合わせるか Web サイト (<https://kawagoekankyo.net>) をご覧ください。



入会案内

**おことわり** 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

**広報 かわごえ環境ネット**  
**2023年11・12月号**  
**No.194**

発行日：2023年11月1日 (第2版) 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会  
 事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1  
 Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: [kankyoseisaku@city.kawagoelg.jp](mailto:kankyoseisaku@city.kawagoelg.jp)  
 かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>